

『小説 孤独のグルメ 望郷篇』10月4日(金)発売決定

小説で描く、完全新作オリジナルストーリー

リリー・フランキーが推薦！「この人の味覚は、涙の味がする」

【情報掲載のお願い】

平素より大変お世話になっております。

小誌「週刊SPA!」は、令和元年6月で創刊31年を迎え、長きににわたり現役世代の働く人に向けて、生活を豊かにする特集、最新トピックスを取り上げてきました。また世代に刺さる漫画、小説などを発表し続けております。

この度、国民的グルメ漫画『孤独のグルメ』が、小説版として帰ってきました！
完全新作オリジナル小説『小説 孤独のグルメ 望郷篇』が、
最新ドラマシリーズのO.A.日である、10月4日(金)に発売致します！

つきましては、本情報の記事化の、ご検討をお願い出来ますと幸いです。

原作・久住昌之 × 作画・谷ロジローによる食漫画の金字塔『孤独のグルメ』の世界観を踏まえ、初代担当編集者である壹岐真也氏が、完全オリジナル小説を執筆！ 哀愁と空腹の全18話を収録しており、漫画よりも少しやさぐれ気味でハードボイルドな井之頭五郎が、東京を縦横無尽に食い尽くします。なお本作発売日である、10月4日(金)は、ドラマ『孤独のグルメ Season8』のO.A.もスタートします。“食欲の秋”にふさわしい、空腹を刺激する一冊です！

＜帯コメントはリリー・フランキーが担当！ さらに原作・久住昌之のコメントも！＞

●リリー・フランキー

「この人の味覚は、涙の味がする」

●久住昌之

「ボクの知らない五郎。でも読み進んでいくと、たしかにこれはボクが漫画に描いた井之頭五郎だ！ こんな不思議な感動初めて」

＜小説版・井之頭五郎が歩む、哀愁のグルメ記＞

- ★酷暑の渋谷、日傘の影だまりと冷や汁に救われる
- ★武蔵野の果ての坂の底。白いイタリアンを食べて我に返る
- ★ハロウィンのアリスと、底知れない沖縄のヤファージュシー
- ★浅草の片隅でロシア料理の強靱な連続技に熱く火照る
- ★おせちと七面鳥のあとにかぶりつく新大久保のハットグ
- ★世界の大巨人の栄光を思いながら啜る、赤坂の排骨拉麺

＜著者プロフィール＞：壹岐真也（いき・しんや）

60年、東京生まれ。『月刊PANJA』編集部時代に漫画「孤独のグルメ」の連載を立ち上げる。『週刊SPA!』編集部、文芸誌『en-taxi』立ち上げ編集長を経て、現在はフリーで編集、執筆を手がける

●作品情報

- ・タイトル:『小説 孤独のグルメ 望郷篇』10月4日(金)発売 / 著者:壹岐真也 / ページ数:256ページ
- ・定価:1320円(本体1200円)・予約サイト(amazon): <https://www.amazon.co.jp/dp/4594082475>



10月4日(金)発売／『小説 孤独のグルメ 望郷篇』

著者インタビュー、読者プレゼントなども可能です。どうぞよろしくご検討ください！

＜宣伝問い合わせ先＞ 週刊SPA! 広報:長田: qspa@fusosha.co.jp